

料金後納

ゆうメール

【返還先】〒604-8571 京都市中京区河原町御池 京都市役所内 日本共産党京都市会議員団

【差出人】〒572-0814 寝屋川市堀溝 1-21-1 CHUETSU TRANSPORT Co.,Ltd.

こんな京都に
したいなあ

力を合わせて 希望ある新しい市政を!

全員制のあたたかい 中学校給食の実現を

全国では85.3%の中学生が
給食を食べています。

小学校みたいな
給食食べたい

お金の心配なく
病院にいけるように

少人数学級の実現を

現市長になって12年、全く改善なし。

保育所待機児童の解消を

京都市は待機児童ゼロと言うけれど、
現実には毎年500人以上が
申し込んでも入所できていません。

消費税も上がり暮らしは
大変、せめてごみ袋代を
値下げして



ごみ袋代の値下げ

有料指定袋は、毎年約10億円以上もの「黒字」。

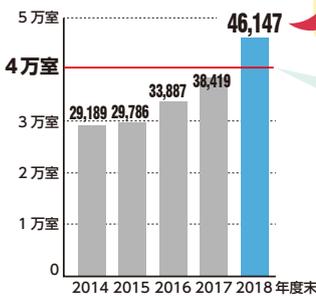
子ども医療費助成の拡充を

京都市は府内で最も遅れています。
府の制度に上乗せしていないのは
京都市のみ。

これ以上ホテル・簡易宿所はいらない

京都市の「宿泊施設拡充・誘致方針」でホテル・簡易宿所などの建設ラッシュ。「観光公害」と呼ばれるような混雑、渋滞、騒音、ごみなど住環境への深刻な影響が広がっています。

京都市内の宿泊施設の客室数



さらに、57,000室へ

京都市の目標
4万室を大幅突破

路地奥まで「民泊」!
安心して暮らせない

※数字は市の資料による

市民の宝

敬老乗車証を守りましょう

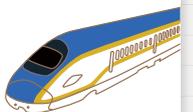
乗るたびに運賃の一部を負担させる改悪案を発表してから6年。15次にわたる署名提出(約4万5千筆)など、市民の世論と運動で、改悪を許していません。



総事業費 2.1兆円以上

北陸新幹線延伸計画は撤回を

京都の自然環境・住環境を壊し、地下水や酒造り、文化財にも深刻な影響。



大型開発よりも、災害から市民の命を守り、暮らし応援の市政へ



日本共産党市会議員団は、353項目の予算要求書を提出しました。▶





北陸新幹線京都延伸問題を考えるシンポジウム (11月20日)

1. 子育て・福祉に

市長が「未来への先行投資」とすすめる北陸新幹線延伸について、自然環境や文化財などへの影響を質しました。

市長は、負担のあり方(総事業費2兆1千億円)や自然環境についても「国に意見を言っている」というばかりで、負担費用を明らかにしないまま推進する無責任な態度に終始しています。



環境への影響は不明!?



「鉄道運輸機構」が示した延伸ルート案(左図) 地下水・文化財の市内の分布は? 大深度地下工事で相次ぐトラブルについては?



詳細には把握していない(市当局)



災害時の東海道新幹線代替機能が延伸の理由なのに…

「地下水を避けるために活断層を通る可能性もある。…どうしても活断層はある程度避けられない」(市環境影響評価審査会・「鉄道運輸機構」の説明)

「子育て・福祉応援型」市政を!

- ✿ 保育所などの副食費無料 (6.6億円ですみます)
- ✿ 小学校のような 全員制の中学校給食
- ✿ 給付制奨学金制度、奨学金返済支援
- ✿ 敬老乗車証を守る
- ✿ 避難所の環境改善

2. 「リストラ」一辺倒から、市民によりそう市政へ

現市長の下で区役所の職員が902人も減らされています。

私は、連続する災害時に、罹災証明発行が遅れ、避難所に常駐職員が配置できないなど、**公務員削減が自治体の災害対応力を弱めている**と指摘しました。当局は(避難所開設運営について)「地域の自主性におすがりしているのが実態」と答弁しました。十分な職員体制をとり、避難所へ職員を配置し(6政令市が実施)、住民とともに災害に強いまちづくりをすすめるべきです。



● 区役所機能縮小で、行政サービスが後退

戸籍などの証明郵送事務の区役所業務廃止、民間委託により、重大な遅延が発生。今度は、介護保険の要介護度を決める認定業務と、住宅改修をはじめ介護給付を行う事務の区役所業務を廃止し、民間委託しようとしています。身近な区役所でいいないな住民サービスの提供を行うことこそ求められています。



「らしの願いで市政を変える

日本共産党
京都市会議員

加藤あい





市民の声が届く 市政へ

「中学校給食を実現してほしい」「敬老乗車証を現行の制度で存続してほしい」「ごみ袋代を値下げしてほしい」など、市民の切実な声が、今の市長には届きません。

今年は、市政を転換する絶好のチャンス。市民の声が届く市政を実現しましょう。

日本共産党
市会議員

ひぐち英明

ひであき

大型事業推進から 暮らし丸ごと応援の市政へ

敬老乗車証を、乗るたびごとにお金を払う方式に改悪する方針は撤回し、現行制度を継続させましょう。また、**子どもの医療費**の中学校卒業までの無料化も実現しましょう。そのためにも、北陸新幹線延伸

(総事業費2・1兆円)や堀川地下バイパストンネル(かつて総事業費1200億円とされていた)など、ムダな事業計画を中止すること、その他の公共事業も徹底的に精査することが必要です。

企業呼び込み型の大型開発優先から 中小零細企業支援と賃上げ図る市政へ

公契約条例に賃金条項を創設する、**住宅リフォーム助成制度**や**商店リフォーム助成制度**を創設するなど、働く人の賃上げと地元中小零細企業支援の施策を実現させましょう。京都駅周辺での高さ規制の緩和などで、東京や海外から大企業を呼び

込むために大型開発を進めようとしています。しかしこの間、大型商業施設やホテルがつぎつぎとつくれることにより、住環境が壊され、地元商店などが廃業に追い込まれています。こうした方針を改めることが必要です。

公的責任の投げ捨てから 災害対応に責任をもち、 住民自治を支える市政へ

台風などの災害時の**防災証明**の発行が大幅に遅れる、職員が**避難所**の対応ができないなど、市民のいのちと安全を守る仕事に重大な支障が及んでいます。

そのミスを京都市は自ら把握することすらできませんでした。この背景には、現市長就任以来の3300人以上の職員削減と民間委託の方針があります。

また、各種証明書などの個人情報郵送業務を民間業者に委託することで、大きなミスが発生したものの、

公的責任を投げ出す市政から、災害対策に責任をもち、住民自治を支える市政へ転換が必要です。



敬老乗車証を守ろう



消費税率は5%へ減税を



2018年の台風被害の復旧は緊急の課題



賃金引き上げを!

京都らしさ守り、暮らし応援の京都市政へ

昨年4月の地方選挙で再び市議会へと押し上げていただきました。地域の景観や住環境を守る運動、暮らし応援の市政実現のために多くの皆様とご一緒に得た大切な議席であると重く受けとめ、全力投球の毎日です。

日本共産党 市会議員

とがし 豊

富樫ゆたか

プロフィール●1975年1月19日生まれ、府立朱雀高校・同志社大学経済学部卒業。京都市会議員3期。2004年京都市ごみ減量推進委員。現在、左京消防団川東分団副団長、川東学区民泊対策事務局、だん王保育園保護者会会長、安倍9条改憲NO!京市民アクション事務局、世界遺産下鴨神社と糺の森問題を考える市民の会事務局、哲学の道保勝会幹事。



台風の巨大化・被害拡大など地球温暖化の影響が心配です。脱原発・脱石炭火力・自然エネルギー

地球温暖化対策と災害に つよいまちづくりを

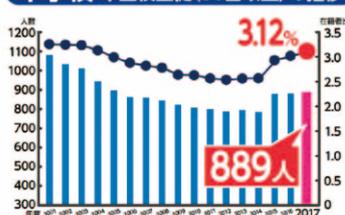
ギー100%を目指す政治の大転換が必要と提案型で論戦しています。

今の市長になってから教育環境の改善がとまっています。少人数学級を小3以上にも広げ、学校の先生を増やし、一人ひとりに行き届いた教育を。松賀茂公園拡大をはじめ児童公園を増やせと求めています。

小学校 不登校児童(30日以上)の推移



中学校 不登校生徒(30日以上)の推移



教育委員会資料より作成
児童生徒数は教育調査統計による
京都市議会報告2019年9月作成
日本共産党京都市議員団

子どもの声を市政に先生を増やす！遊び場を増やす！



観光ゴミ問題調査

許せません。京資本の好き勝手はストップ。外資・東弁。ホテル・企業への学校跡地差し出し

もうホテルはいらない 京都らしさを守る市政に

名勝・無鄰菴や瓢亭さんの横に大きなホテルは

いりません！せめて3階建てに！という住民の皆さんの声を議場で代



5月市会代表質問

9月決算市会での請願審査

◎採択 ×不採択

左京区選出市議の請願に対する態度	共産とがし議員	共産ひぐち議員	共産加藤議員	自民桜井議員	自民豊田議員	公明国本議員	維新宇佐美議員	京都村山議員
消費税増税に反対表明求める	◎	◎	◎	×	×	×	×	×
ごみ袋代値下げを求める	◎	◎	◎	×	×	×	×	×
無鄰菴庭園からの眺望保全を求める	◎	◎	◎	×	×	×	×	×



いのちとくらし守り 地域の魅力を高める 山科のまちづくりを!!

二期目の初年度は産業交通水道委員会に所属
産業振興の観点で元気な京都・山科の実現に力を入れました!

日本共産党
京都市会議員
山本 陽子

大規模小売店や海外輸出の偏重に道を開く中央卸売市場の条例改正にかかわり、市場を視察して実情を学びました。京都市中央卸売市場は仲卸業者の目利きで安全安心な食材の価格の適正化、流通促進に寄与してきました。海外輸出・大手資本頼りの条例改正には反対しましたが、「京都の食文化を育んできた小売店、料理店の支援こそ強化して、地域循環で市場の活性化を」と求めました。



**海外資本、大規模小売店頼りはやめて、
商店や小売店への支援強化
で地域循環・活性化を!**



農民連の皆さんに農家の実情・要望を聞きました

農地は「宅地化」から「保全」すべきものとなりました。山科は、農業が豊かに育まれた地です。生産緑地を保全して、農業という山科の特色をまっすぐに位置付けるよう求めました。

**農業政策を市や行政区の
基本計画に位置付けて、
市として支援を!**

国の生産緑地制度が新たに変わるも、農地は「宅地化」から「保全」すべきものとなりました。山科は、農業が豊かに育まれた地です。生産緑地を保全して、農業という山科の特色をまっすぐに位置付けるよう求めました。

**敬老乗車証制度の改悪ストップ!
市民の足を守る京都市に!**



**消費税10%
増税無理!
5%に戻せ!**



小学校みたいな
温かい中学校給食の
実現を



**市民の皆さんの
要求実現にともに
力を合わせて
きました!!**



小金塚循環バスの利用状況を調査。他の交通不便地域にも対策を求めています。「住み続けられる山科」にするため、区民の大きな願いである公共交通の充実を!

市民の願いが届く市政へ 全力投球！

11月
本会議

はじめての代表質問。

16年間、ケアマネジャー・地域包括支援センターで働いてきたその経験と介護の現場で働くみなさんの思いと願いをこめて質疑しました。

- ▶ 地域包括支援センターの体制強化を。直ちに専門職1名の増員を。
- ▶ 介護職の確保のための本格的な支援をおこなえ。
- ▶ 総合事業の訪問型サービスの見直しを。



日本共産党 市会議員

鈴木とよこ

すずき豊子

小学校と同じ、
温かい全員制の
給食を。



介護保険の認定、
給付業務の集約・民間委託
を中止すること

京都市の
わかもの・大学生への
支援を充実すること

山科区のごことは、山科の住民の総意でまちづくりを!!

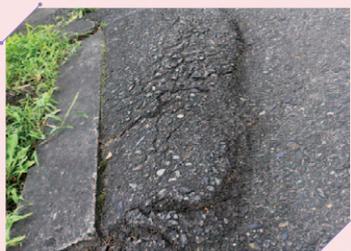
山科の住民のみなさんが、「山科のまちづくり会議」を立ち上げ、交通問題のニーズを調査し、実現するための署名活動に取り組んでおられます。全く見通しのない刑務所移転。住民に説明も情報提供もない。唐突に市民新聞で発表された市役所本庁のトップダウンです。すめる「京都刑務所敷地の活用を核とする未来の山科のまちづくり戦略」は全面的に見直すようせまりました。



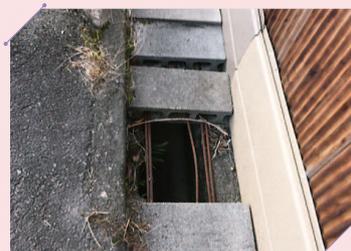
困っていることありませんか？

▶ ご相談は 鈴木とよこへ
TEL.090-1588-3600

市会議員となってから、71件のご相談がありました。なんといっても多いのは、生活道路の修繕です。そして、私がケアマネジャーをやっていたこともあり、介護の相談も多くありました。いっしょに考え、悩み、いっしょに行動し解決していきます。



▲根上がりにより歩道が危険！



▲子どもの通学路 危ない！



▲3年前からお願いしてるけど一向によくない

山科は、生活道路の修繕が必要なところが多い。特に側溝にふたがないままのところもよく見かけます。この間、視覚障害者の方や車いすの方からの切実な願いを実現してきました。通学路の安全問題にも、地域の方と取り組んでいます。

今こそ実現！ 暮らしをよくするあなたの願い

市役所とは「市民に身近で役に立つ所」です。しかし、市民や職員の思いと違って、市役所が「企業の儲けの場」に差し出され、「民間にできるものは民間に」と職員が減らされ、市役所がどんどん遠くなっていませんか。市役所を市民に取り戻すために、日々全力でがんばっています。

日本共産党 市会議員

井坂博文



乾いたタオルを絞った結果は…

市長の「乾いたタオルを絞るような行政改革が必要」路線が、赤ちゃんならお年寄りまでの暮らしに、耐えがたい痛みを押しつけてきました。9月市会市長総括質疑で「6年連続保育所持機児童ゼロ、というが実際は毎年500人が入っていない」と事実を示して改善を求めました。



9月決算特別委員会の市長総括質疑

住民の声を生かした

嵐電北野白梅町駅の改修を

白梅駅がバリアフリーに改修されます。「割れた窓ガラスの改修を」と求めてきた住民の運動が実を結びました。利用者の声を生かして、改修に伴う市バス路線の変更は沿線の住民の安全を脅かすものであり見直しを求めています。



リニューアル後の北野白梅町駅 (イメージ)



北野白梅町駅前での改修に関する訴え

世界は核兵器禁止条約の制定を求めている

国連会議で禁止条約が採択されて2年。いま、80か国が署名し34か国が批准。(2019年12月1日現在) この流れは止まりません。ところが日本政府はいまだに署名・批准を拒否しています。2020年春にはニューヨークで世界大会が開かれます。被爆2世としてくり返し議会で署名・批准を求めてきます。禁止条約の発効へ全力を上げます。



河原町三条で核兵器廃絶署名の宣伝

いつも住民とともに

市政報告会を継続して開いています。そこでの意見や要望が参考になります。



玉本なるみです



新しい政治の流れが起こっています。市民と野党の共同が全国で広がり、日本共産党も野党の一員として頑張っています。京都市でも、新しい政治を作りたいと決意しています。本年もよろしくお願いします。



大型公共工事よりも、暮らしと福祉の充実を！

北陸新幹線の延伸工事には2兆1千億円以上かかると言われていますが、地元の自治体費用負担がいくらになるのかわかっていません。それなのに京都市は未来の国土軸になると、推進する立場です。しかも、京都市内のルートはほとんどが40m以上の地下深くを掘りトンネル走行になります。重要な文化財や井戸、酒蔵などがあり、地下を深く掘る工事には問題があります。市長の姿勢が問われます。



9月30日、京都市会本会議代表質問でパネルを掲げ、質問しました。

加齢に伴う難聴者への補聴器購入の補助を！



市会議員団として政府関係省庁からヒアリングを受けました。補聴器の購入補助については、現在、難聴と認知症の関連性を研究中で、来年度その結果次第で検討するとのことでした。聞こえにくさで、日常生活に影響を及ぼしている実態もお話ししました。東京では独自に補助をしています。ぜひ、運動を広げましょう。



参議院会館にて

公金の使い方が問われます

安倍首相主催の『桜を見る会』の公金使用が話題になっていますが、京都市でも京都市の広報として、よしもとの芸人さんにツイッター1回50万円(2回分100万円)で委託されていることがわかりました。しかも、委託を受けた広告であるということをわからないようにしてツイートすることはやり方としても問題です。



今年度は、産業交通水道委員になり、安全な水道水を守るために頑張る決意です。京都市では、根幹部分は直営でやると言いつつも、営業所を統廃合し、民間委託を進めています。いざという災害時等に、公的責任を果たせるように民間委託の拡大には反対です。ご意見などお寄せください。

命の水を守る！

しっかりと市民の皆さんの声をお聴きし、議会に届けること、そして、その要望実現に向けて議会で論戦してまいります。

6期目
スタート



安心して 住みつづけられる 上京区を！

上七軒界わいにホテルはいらない！

五辻通りは4メートル幅の通学路です。
ここに4階建てのホテルなどともありません。
国の担当者は「ホテルなどの立地制限は自治体でできる」と述べています。
東京都荒川区は前面道路10メートル以下は認めていません。
簡易宿所にも管理者の常駐を義務付けています。
くらた共子は密集地の宿泊施設の規制を実現できるよう頑張ります。

12月10日
議会請願
提出

日本共産党 京都市会議員・5期

くらた共子

上七軒HOTEL

～北野界わいを守ろう～



4m幅の五辻通りへの4階建ホテル建設計画に反対の声があがりました。「もう、これ以上の宿泊施設はいらん。人に住んでもらいたい」



京都市長に 要望書を提出

11月14日

「住宅密集地の通学路、ここへのホテル建設は受け入れられない。事業者に許可しないよう求める」
都市計画局と医療衛生センター担当者が対応しました。



厚生労働省 ヒアリングより

11月15日

「『民泊』規制については、実情に応じて自治体がお考えになること」と回答しました。管理者の常駐、路地や細街路、連棟、住宅密集地での営業規制も可能です。市長の判断が求められています。



市民のくらしと福祉を 根本から守れ

門川市政の3期12年間で、職員削減は際限なくすすめられ、
社会保障も改悪の連続です。

これは、京都市自身が住民を国の悪政から守る
防波堤の役割を投げ捨てていることになります。

こういう時だからこそ、くらしと福祉を守ることが必要です。
市政転換へ全力でがんばります。



市会議員

日本共産党

ひらい よしひと

平井良人

地下鉄ホーム柵 4 駅目設置へ

11月議会の中でうれしいニュースが
飛び込んできました。



これまでから市民のみなさん、特に視覚障害をお持ちのみなさんと求めてきた地下鉄ホーム可動柵が、新たに北大路駅に設置されることになりました。繰り返し、議会の中で京都市に求めてきたものです。引き続き全駅にホーム可動柵設置へ全力でがんばります。

「消費税反対の意見表明」 請願の賛成討論に立ちました

9月市会の閉会本会議において、642件にもものぼる「消費税反対の意見表明を市長が行うべき」との請願が自営業を営む方々などから寄せられました。私は、賛成理由として、第一に景気が落ち込んでいる時に行うべきでない。第二に事業者への負担が重すぎる。第三に大企業や大資産家から税金は取るべきものと述べました。

これ以上の職員削減は やめよ

門川市政の3期12年間で削減した職員はなんと3337人にもものぼります。現在でも、職員の労働環境悪化が続いており、決算委員会でもそのことを取り上げました。自民党議員からも「乾いたぞうきんをしばるような職員削減」との発言が出る状況です。私は職員の命を守れない自治体になっていると京都市に方針転換を迫りました。京都市も「相当厳しい状況になっている」と言わざるを得ない一方、職員削減は引き続き行う姿勢を崩しませんでした。

いつまでも安心して 住み続けられる下京を

9月30日の代表質問で求めた翌日、元植柳小跡地へのホテル建設計画に伴う「地下体育館計画」を撤回に追い込みました。住民のくらしは住民で決める、安心して住み続けられるまちづくりに全力をあげます。

日本共産党 市会議員

かまのとしのり 敏徳

「子どもの医療費負担を何とかしてほしい」「中学校給食の実現を」「年金暮らしに消費税増税はこたえる」―ど

の世代からもくらし応援の願いは切実です。実現に向け全力をあげます。

くらし応援で
子どももお年寄りも笑顔に

ホテル・民泊の建設ラッシュや高さ規制の緩和によって、下京のまち並みと地域コミュニティが大きな打撃を受けて

います。宿泊施設の総量を規制し、近年被害が大きくなっている自然災害に対する防災機能を高めます。

まちこわしストップ、
災害に強いまちづくりを



年金者組合看板前で

中小企業・商店街応援、
労働者の賃上げで
地域経済を元気に

中小・零細企業、商店街、そして労働者のフットコロが温まってこそ、下京の地域経済は元気になる。中小・零細企業応援につなげるための

実態調査、商店街振興条例が必要。公契約基本条例への賃上げをすすめます。



京都市第一市場視察



年金フェスタで山本和夫全日本年金者組合京都府本部委員長と



元植柳小跡地活用計画(案)

元植柳小学校跡地の活用計画(案)
5. 災害時の対応
・災害時には、植松公園の地下体育館を避難所として利用します。
・浸水が想定される場合には、ホテル2階以上を開放します。
・今後、地域住民の皆様と一緒に災害対応マニュアルを作成します。

・2階以上の客室数は約120室
・1室40㎡以上、6名程度収容可能(エクストラベッド、リネン類提供)



井上 けんじ

日本共産党
京都市議員



声を掛けて頂いたり励まして頂いたり、いつも本当に有り難うございます。市民の皆様のお役に立ちたい一心で、声をお聞きし、その声を市に届け、また猛勉強、議会で要求、の毎日です。市の動きや情報をお伝えすることも大事な仕事です。パイプ役として今年も頑張ります。みんなで力を合わせ、みんなの願いの届く、そんな京都市を、ご一緒にめざしましょう。皆様の叱咤激励を背に受けて、私も頑張ります。よろしくお願いたします。

市の姿勢、市長らの主張	市政の 主な争点	井上けんじの主張と感想
お金がない、財政危機 国も財政が大変	財政	大型事業ムダ遣いのお金はある 市は梅小路の七条通横断歩道橋や、鴨川東岸線拡幅、油小路通地下トンネル計画、北陸新幹線などムダ遣い。政府は軍事費など更にムダ遣い。市長はムダをやめ、政府にも「大企業や大金持ちへ減税をやめ、自治体への財政配分を」と求めるべき。ないのは財政ではなく、市長の気持ち。
「宿泊施設拡充誘致」方針 文化に貢献しない施設は遠慮してもらいたい	ホテル・民泊	その方針が観光「公害」の原因。一定の歯止めとルールが必要 貢献するしないの判断基準はあいまい。富裕層向けならいいのか。事業者常駐が当然。「遠慮を」と本当に思うのなら口だけでなく路地奥の民泊は具体的に規制すればいいだけ。
国保は助け合い	国保	公的役割が法律にも明記、保険料引き下げを
介護保険は国の仕組み	介護保険	運営責任は市にある。自治体として保険料値下げは可能
規模の大小にかかわらず経営相談、融資、調査に取り組んでいる 「市外から稼ぐ」	中小零細企業 支援	大企業と中小零細企業・事業者を同一視、違いをあいまいに 実際、大企業応援が目立つ。相談は商工会議所・融資は銀行・調査は郵送でと、中小応援はみんな間接的。直接、市内中小企業の応援を。
少人数学級は創意工夫の教育を妨げる、中学校給食はお金がかかる	教育	少人数学級の効果は理論的にも実践的にも証明済み。給食も教育の一環、家庭環境の違いにかかわらず、 全ての子どもたちに温かい食事を。 年次計画で。
ゴミ袋代を値下げするとゴミが増える	ゴミ袋	市民の減量への努力を信頼できない人間不信、蔑視、袋代をゴミ収集以外に使うのは 経費流用で法律に触れる疑い。
市立福祉施設を民設民営へ	福祉	公的役割を放棄。「相部屋」の時代遅れ。

活動の
ひとコマ



▲ 災害時現場視察



▲ 餅つき大会



▲ 民泊調査



▲ 現場の声を聞く



▲ 議会で質問

住民のねがい とどく南区へ

日本共産党 京都市会議員

森田 ゆみ子



交通の 利便性向上

●「市バスの乗り継ぎは無料に」「バスの増便を」「バス停の改善を」と何度も何度もあきらめずに市民の要望を議会に届けてきました。その結果多くのバス停に屋根付きのベンチが設置され、乗り継ぎ料金の割引が拡充されました。しかし、まだまだ不便地域は多く、八条通のバス路線復活や、交通不便地域の市バス増便、路線の拡充をするべきです。



●西大路駅のバリアフリー化は2020年度完成予定ですが、住民の望みには叶っていません!! 今後ともあきらめずに現駅舎を中心としたバリアフリー化に向け頑張ります。

文化は 市民のために

●京都市は、京都駅東南部に文化エリアを作ると市民アンケートをとりました。「文化は歓迎するが規制緩和で住民が住みにくくなる」という意見が多く出され、対応を質すと「市民の方に京都市のプランを納得していただくまで説明する」と答弁しました。市民意見をまとめておきながら住民の意見を聞くつもりはないようです。今まで住民が築き上げた文化を壊すことなく市民に喜ばれる文化政策を。



子どもを育てた 母として

●中学校給食は多くの保護者からの切実な声です。「多忙でお弁当を作る時間がない」「通学に時間がかかる子どもにとって弁当は重くて負担」等々。京都市は愛情弁当論を掲げて選択の自由とありますが、温かくておいしい給食は多くの市民の要望です。他都市では全員制の給食が当たり前になっており、みんなで食べることが食育にとっても重要だと質しました。



●子どもの医療費が中学校卒業まで月1,500円を上回った分は申告すれば返還されることになっています。その制度を知らない方がまだ多く、周知するためにも医療機関の窓口で申請用紙と制度の説明書をセットで置いてもらうようにと求めましたが、京都市は個人で書類を検索してプリントアウトするか、区役所まで取りに来るようにと答弁しました。楽しく子育てできるよう母親目線で市民の声を届けます。

「議員活動報告動画」をぜひご覧下さい



「動画コーナー」は
こちらから

子どもも教職員も 楽しく通える学校を!!

9月市会本会議 代表質問

みなさんのご支援を受けて、引き続き市議員になることができました。みなさんの声をしっかり受けとめ頑張ります。9月市会では3回目の代表質問をしました。



小学校3年生の 35人学級実現を



2019年度から小学2年生の35人学級の費用が国負担となったことを受け、これまでの市負担分を小学3年生の35人学級に当てるよう求めましたが、「35人学級を画的に拡大するのは創意ある取組を妨げる」と背を向ける答弁でした。



当事者の心に寄り添って 登校拒否や「ひきこもり」対応を



学校の役割は一人残らず子どもに学ぶ権利を保障することです。子どもたちが安心して過ごせる居場所を求めました。また、義務教育卒業後の対応、教育機関・就労機関へと繋げるよう行政の対応を求めました。「支援団体との連携方策も含め、支援のあり方を議論する専門分科会を設置する」と答弁がありました。



自衛隊への若者の 個人情報提供の撤回を



自衛隊への若者の個人情報提供について、①自衛隊の募集業務への協力は依頼であって義務ではないこと ②新たな任務により自衛隊員の命が危険にさらされていることから、自治体として加担すべきでないことを求めました。

日本共産党 市議員



ほり信子

「ごみ袋代値下げ」の請願が不採択に!

家庭ごみ袋代の値下げを求め4919筆の署名を添えて8団体が請願。ごみ減量における市民の努力を認めながらも、有料化財源に固執する京都市と他会派の姿が浮き彫りになりました。

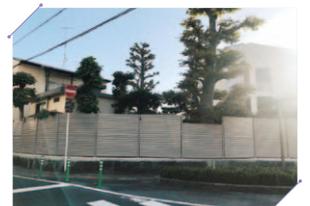


地域の仕事人

みなさんの声を
しっかりと
受けとめ要求実現



▲側溝の改修(太秦)



▲ブロック塀の改善(常磐野)

安心して住み続けられる、 災害に強いまちづくりに全力

自然災害が連続して発生し、甚大な被害が発生しています。災害に強いまちづくりのうえでも、地域住民の暮らし再建のうえでも、地域の中小企業の役割は重大です。中小企業を支援し、地域循環型に京都経済を立て直し、災害に強いまちづくりにとりくみます。

日本共産党 市会議員

山田こうじ

まちかどの
元気印!



空き家対策待ったなし!

空き家問題は深刻です。花園地域では、一つの区画のなかで9軒もの空き家があり、災害時や防犯上の心配があるとお聞きし、かみね史朗前府会議員と共に現地へ。

山ノ内の地域でも20年以上放置されている空き家があり、昨年の台風でトタンや瓦、壁などがはがれ落下するなどの事態が発生しています。まち再生創造推進室へ要望を届けました。



花園の朽ち果てた空き家

阪急西院バリアフリー、 着々と!

27年来の運動の結果、阪急西院駅のバリアフリーが着々と進んでいます。東側改札が新設され、

エレベーターが設置されたのに続き、西側改札にも、エレベーター、エスカレーター設置の工事が着々と進んでいます。



西院駅西側改札までのエスカレーターが完成。来年4月にはホームまでのエレベーター、エスカレーターが出来ます。

安心して歩ける 七条通りへ!

都市計画道路である葛野西通り、全長3・3kmのうち葛野大路から月読橋間の約760mの区間が未整備となっています。アンケートや署名など

を取り組み、安全対策を求めてきました。今回調査費が付いたこともあり、進捗状況の説明を求め、地元の意向も伝えました。



七条通りの安全対策で道路建設課長と懇談

2期目の初年度は総務消防委員長

総務消防委員長として、委員会の運営や他都市調査、指定都市として国への財政支援の要望などに取り組みました。

議員団の他都市調査では、班長として調査の運営にあたり、浜松市の下水道コンセッションや区役所の総合窓口の取り組み、東京都江東区の、高齢者に補聴器を現物支給する取り組み、北区のバリアフリー構想の調査を行いました。





憲法を生かし 市民の声に心寄せる市政に!



グローバル気候マーチに参加

お元気ですか。私は昨春、5期目議会に送っていただき、今期は市会教育福祉委員として頑張っています。昨年も全国で災害が相次ぎ、災害対策の強化、地球温暖化対策まったなし!と実感します。安倍内閣の消費税増税の強行、政治の私物化、憲法改悪の方向は許せません。しかし、大学入試民間英語テストの導入が高校生も抗議し、中止となる等、市民

の声が政治を動かす流れも進んでいます。私は福祉の後退を許さず、いのち・くらし守れ!と皆さんと声を上げ、実現できるよう尽力します。よろしくお願いします。



日本共産党
京都市会議員

河合ようこ

バスをもっと便利に!

「区役所に行きやすいバス路線」を求める市民からの議会陳情が出されました。「バス一日券が使えるように」「近くにバス停がほしい」等くらしの足であるバスの充実や「民間バスにも敬老乗車証を」の願いは切実。実現へ頑張ります。



実態つかんで買い物対策を!

新林センターのスーパーが昨年6月に閉店。桂駅前のスーパーも。買い物が近くでできないと困るとの声をたくさん聴きました。新林の住民からは買い物対策を求める署名が市に提出され、社協や自治会の尽力でお買い物便が運行されています。

私は、「洛西ニュータウンの活性化のためのワーキングで提案されている『高齢者・障害者の買い物実態調査』を実施すべき」と求めました。



小学校のような 中学校給食の実現を早く!

「小学校の給食はおいしかった!それやったら中学校でも食べたい」「皆と一緒にがいい」と中学生が話してくれました。市民の運動が広がっています。早期に実現したいです。



学校の統廃合は 子ども・まちづくりの視点で

私は、「教育再生実行会議での『学校統廃合は…いかに財政効果が大きい』という市長の発言が統廃合の本質だ」と指摘し、子どもの通学負担やコミュニティの核=学校が閉じることでの地域への影響等を質して「住民合意、子どもの視点で」と求めました。



保育・学童保育の充実を!

職員の処遇・職員配置の改善を。詰め込みでなく、子どもが安心して過ごせる施設整備を! 保育無償化に伴い実費徴収となった給食副食費は国や自治体が負担を!と求めています。



安心して住み続けられる西京区に



くらしの目線で 市政を変える

地方自治体の役割は、住民の皆さんの福祉の増進です。国にもしっかりと意見を言い、国の悪政から住民の皆さんを守る防波堤の役割を果たすことが求められます。しかし、今の京都市は逆の役割を果たしています。でも、声をあげれば政治は必ず変わります。ご一緒に安心して住み続けられる京都市に変えましょう！

こんにちは

日本共産党市会議員
西野さち子です



**敬老乗車証制度を
守ろう！**

署名の力が市政を動かしています。6年にわたり敬老乗車証制度の改悪を許していません。「せめて今のままの制度で残してほしい」の声は、支持政党に関係なく広がっています。市政を変えて、今の制度を守りましょう。

**ごみ袋代の
値下げを**

市民の皆さんから「家庭用ごみ袋代の値下げを求める」請願署名が提出されました。ごみが半減したのは市民の協力のたまものです。日本共産党以外の議員はごみ袋代の値下げに反対しました。

**土砂条例の
制定が実現**

大岩山が土砂崩れを起こし、奇跡的に民家の直前で土砂が止まりました。日本共産党は、京都市に土砂条例の制定を提案し続けてきました。「必要ない」との立場だった京都市が、来年6月の施行を決めました。市政が動きました。





いかなる理由があろうと
核兵器戦争は許さない

子どもの目線で、安全なまちづくり
障害者の目線で、いのちを守る
子育て環境の充実で未来を育てる
高齢者の目線で平和な暮らし
被災者の目線でくらしの復旧
中小・零細業者の目線で経済活性化
敬老乗車証守り、公共交通の充実

だれ一人も、とり残さない
京都市政に

日本共産党 京都市会議員

あかさか

ひとし

赤阪 仁

なんでも相談してください
くらしの相談

月・水・金の10時から17時まで
TEL.075-621-6717

日本共産党伏見地区委員会
TEL.075-611-9135 FAX.075-602-9117

<http://akasakahitoshi.net/>



活動メモ みなさんの議席、4期目が発進

- 4月:** 長年地元要望していた、宇治川堤防の草刈りを年2回から3回に増やすことが実現。
- 5月:** 納所の地域の皆さんと敬老乗車証で、淀駅発の京阪バスに乗れることに。
- 6月:** 向島秀蓮小・中学校の、近鉄踏切の通学路の安全対策を求める。
- 7月:** 京都市に、「住みよい向島をつくる会」が請願書を提出。①近鉄電車向島駅から敬老乗車証で乗れるように、福祉乗車証でも乗れるように。②市営住宅のお風呂の改修を京都市の責任でと要望を委員会でも追及した。

- 8月:** 大岩山の違法開発に抗議、土砂条例の制定を求めた。
- 9月:** 土砂条例の制定を京都市が提案。
- 10月:** 樋爪地域の西羽束師川沿いの道路改修完了。
- 11月:** 向島庚申町内会の皆さんと、京都市と事業者に対して民泊開業の不許可を求めてきたが、11月民泊の廃業を事業者が表明。
- 12月:** 市営住宅入居の保証人が不要に、「緊急連絡先」も軽減。



大岩山の違法開発規制する土砂条例の制定が来年6月実現



消費税10%強行許すな、5%に減税を求める市民のデモ



12月、住吉学区の皆さんが社会福祉会館の建設を陳情・要望

「2兆1千億円 北陸新幹線」より 「目の前の暮らし」応援を!

お金の心配なく学べる京都に
給付型奨学金・奨学金返済支援を



「いくらかかるかわからない
といって止めるわけにはいか
ない」と、巨額のムダ使い「北陸
新幹線延伸」を進めながら、給
付型奨学金創設や奨学金返済
支援の充実は拒否し続ける京
都市。「未来への投資」というな
ら、若者や子育て応援こそ!

巨大企業には億単位の補助金!?
商店街・伝統産業・中小企業こそ支援を!



任天堂や島津製作所など巨
大企業に12億円も補助金を出
しながら、中小企業支援は極
めて貧弱。「商店が減り買
物難民が深刻」「消費税増税で
客減」「伝統産業も仕事激減」
など切実な実態です。中小業
者・商店街への支援こそ!

市の責任で市民の「生活の足」確保を
藤城の買物支援バスへ抜本的支援を



写真は市も関わって実現
した山科区小金塚の小型循
環バス。伏見区藤城でも買
物支援の取組が始まりました
が、自主運行のため地域
の方の負担も大変。「京都市
の責任で市民の生活の足確
保を」と論戦中!

伏工跡地は地元住民のために活用を
藤森学区にも児童館を



「市民の財産は市民のため
に活用を」「観光客も増え避
難所機能のある公共施設が
必要」「藤森学区にも児童館
を」「市内中心部に比べ公共
施設が少ない」など、引き
続き伏見のみなさんの声を
ぶつけています!

ズバリ
論戦

日本共産党 市会議員

やまね 智史



伏見稲荷周辺に大量の観光
バスが押し寄せ師団街道が大
渋滞。地域要望をもとに市議
会でも渋滞・混雑対策を求め
ました。
現市長就任後、京都市内の
ホテルは3倍、簡易宿所は14
倍に激増。全国でも例を見な
い「住環境悪化」「地域コミュ
ニティ破壊」が進んでいます。
市議会では際限のない観光
客・宿泊施設誘致を進めてき
た市長を徹底追及。「住宅密

集地・路地奥での規制」周辺
住民の合意義務付け「管理者
常駐義務付け」などを提案。
国にも「観光呼び込み政策
を自治体に押し付けるな」と
迫りました。



市長総括質疑 10月18日

市民生活と住環境守れ!
観光客と宿泊施設の総量規制を



国交省や観光庁とも交渉

市長を追及!
国にも強く要望!

市民の願い かなう市政を 右京で住民運動が取り組まれる

京都市の“開発誘致”で地域へ悪影響



市が規制緩和して 世界遺産仁和寺前にホテル誘致

御室

右京区の世界文化遺産仁和寺の真ん前に高級ホテルの建設が計画されています。「反対」請願署名がすでに5000筆近く集まりました。京都市の行き過ぎた観光政策が市民生活に悪影響を与えています。京都市は「誘致方針」を撤回して、文化遺産を守るべきです。



市の大学誘致の影響で 町内の眺望悪化

山ノ内

右京区山ノ内の元京都市浄水場跡地へ大学等の誘致がされ、住宅の眺望に悪影響を与えています。京都市等の説明会で「建物が高くなれば困る」と住民が意見を申し立てても対策はとられず問題です。

京都市へ市民が要望の実現求めて

「ごみ袋代は値下げできる」 市民が市へ要望署名運動

京都市の有料指定袋代の値下げを求めて市民団体が署名運動をすすめています。「指定袋の売上げ収益は年間約11億円あり、45リットルの袋1枚45円は高すぎる」と、全市で取り組むネットワークを立ち上げました。



全員制の中学校給食の 実現を求めて署名の取り組み

京都市の公立中学校でも、全員制の給食の実現を求めて「全員制の中学校給食をめざす連絡会」が署名運動を行っています。京都府下で計画すらないのは京都市と亀岡市だけとなっています。京都市は中学校給食を実現すべきです。



魅力ある東山を ごいっしょに

自然と歴史の生きづく東山には、多くの観光客が訪れます。観光客の多さが、東山のまちづくりにとって大きな問題になっています。東山の魅力をささえているのは、人のくらし、なりわいです。市民のくらしが豊かになることが、魅力ある東山の未来につながるのではないのでしょうか。みなさんとごいっしょに、今年もがんばります。

住んでよし、 訪れてよしの 東山に！

民泊・ホテルの総量規制を

- 東山ではこれ以上つくらせない。
- 管理者の常駐を義務付け。
- 近隣住民・町内会との協定書締結の義務付けを。

ホテル建設のため、路地の奥まで立ちのきになった空地



公共交通の充実・歩行者優先を

- 市バスの増便、バス停の混雑解消を。
- 生活道路の整備。

子育て支援

- 医療費無料化を中学校卒業まで拡充。
- 学校給食無償化と東山泉小中学校で全員制の温かい給食実施を。

高齢者が暮らしやすいまちづくり

- 国民健康保険料の大幅引き下げを。
- 介護保険をもっと使いやすく。

防災・減災対策を抜本的に強化

- 直下型地震に備え、すべての建物の耐震補強を。
- 避難誘導指示の方法を改善し、避難所に職員の配置を。

学校跡地の活用は住民合意で！

- 元貞教小体育館の建て替えをはじめ、学校跡地の活用は住民合意で。

元貞教小体育館の建て替えによる地下化が問題に

